

# 放射線科だより

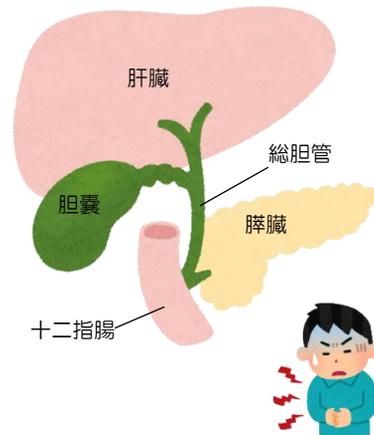


令和7年03月21日  
診療放射線科 青山 将吾

## 《胆嚢炎(たんのうえん)》

### ・胆嚢炎とは

胆嚢炎とは、胆嚢がなんらかの原因により炎症を起こしている状態をいいます。胆嚢炎の多くは、胆嚢内で発生した結石(胆石)が胆嚢の出口や総胆管に詰まり、胆汁がうっ滞することにより引き起こされています。

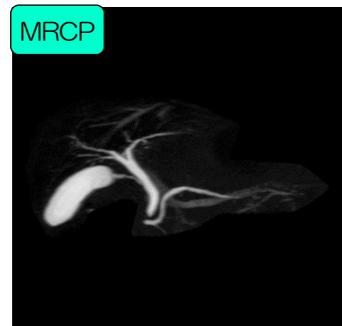
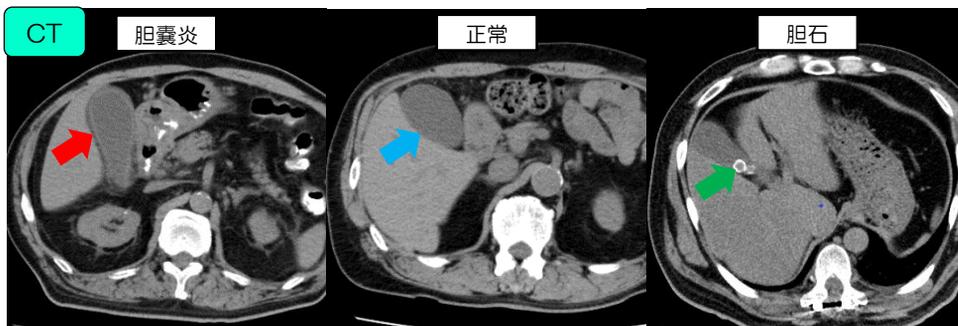


### ・症状

胆嚢炎の症状は、みぞおちのすぐ右側(右季肋部)の痛み・発熱・嘔吐などがあります。また総胆管が詰まった場合には黄疸(体が黄色くなる)が出ることもあります。他に特徴的な症状としては、**マーフィ徴候とよばれる、右季肋部を圧迫した状態で深呼吸を行うと痛みにより息が吸えなくなる**という症状があります。

### ・診断

胆嚢炎の診断には、血液検査やCT・MRI・エコー検査といった画像検査によって行われます。CT/エコーでは胆嚢の大きさや炎症の状態(胆嚢炎→、正常←)を観察したり、胆石の有無(→)などを評価します。MRIで行われる“MRCP”とよばれる検査では、胆嚢や総胆管の状態を3Dで観察する事ができます。



### ・治療/予防

胆嚢炎の治療には、症状が軽い場合には食事療法や投薬治療が行われます。また、重症化した場合には、手術で胆嚢を切除することもあります。

胆嚢炎の予防には、揚げ物などの脂肪分の多い食事を控えめにすることや、定期的に運動を行うことが重要です。

検査に関する疑問、質問などございましたらお気軽に検査担当技師までお問い合わせください